

令和5年度 シラバス

整理番号

TF言語1

教科名	国語	科	科目名	言語文化		
履修学年	1年	学年	履修	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	単位数	2 単位
使用教科書 副教材等	『新編 言語文化』大修館書店 『新編 言語文化学習ノート』大修館書店					
学習の目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。					

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</li> <li>・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</li> <li>・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。</li> <li>・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。</li> <li>・古文を読むことに興味をもち、積極的に読みに慣れようとしている。登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・小テスト</li> <li>・定期考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・小テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察</li> <li>・ワークシート</li> <li>・小テスト</li> </ul>

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学習内容	学習活動・ねらい
1 学 期	『言葉の森を育てよう』 『季節の言葉と出会う』 『漢字と仮名の使い分け』 『水かまきり』 『とんかつ』 『一瞬の風になれ』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。また、日常使っている言葉を見つめ直す。</li> <li>・日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。また、表記に興味をもち、調べたり考えたりする。</li> <li>・文学作品の描写や会話、特徴のある表現を味わい、登場人物の人間関係や心理を読み取る。</li> </ul>
2 学 期	『足し算の文化』 『古文への招待』 『いろは歌』 『児子のそら寝』 『徒然草』 『ほどほどのデザイン』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。また、語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。</li> <li>・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解し、受け継がれてきた古文を音読を通じて、響きやリズムを味わう。</li> </ul>
3 学 期	『羅生門』 『祖母が笑うということ』 『五十歩百歩』 『蛇足』 『論語』	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書に興味をもち、積極的に読書に取り組む。また、登場人物の人間関係や心情、印象的な言葉や表現などを意識しながら、作品を味わう。</li> <li>・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解し、受け継がれてきた古文を音読を通じて、響きやリズムを味わう。</li> </ul>